



リリース ノート

製品名 : **FioranoMQ**

バージョン : **10.0.0** Build #: **10110**

本ドキュメントは、**FioranoMQ (リリース バージョン 10.0.0)** の重要なリリース情報を記載しています。

本ドキュメントに記載されている情報は、当該製品に関する最新の情報です。他の関連ドキュメント、マニュアル、資料、パンフレットなどに記載されている情報と異なる場合には、本ドキュメントの情報を優先してください。

フィオラノ ソフトウェア 株式会社

2013 年 12 月 10 日

目次

1. リリース 10.0.0 の新機能.....	3
2 既知の問題点と制限.....	4
3. システム要件.....	5
4. 製品マニュアル.....	6
5. カスタマ サポート.....	7

1. リリース 10.0.0 の新機能

FioranoMQ 10.0.0 では、次に記載する新機能の追加および既存機能の拡張が為されています。

注意: 旧バージョンから FioranoMQ 10.0.0 へバージョン アップされる方は、
\$FIORANO_HOME/fmq/bin/<migration フォルダ> にある Readme を参照し、マイグレーション用スクリプトを実行してください。

1. JMS 2.0 準拠

JMS 2.0 に準拠しました。

JMS 2.0 における代表的な改善点には以下のものがあります。

- **Simplified API (簡易 API)**

JMS 2.0 で新規に簡易 API が設けられました。これによって、スリムなコーディングとなり必要なコード量が劇的に削減されます。

Simplified API として、新規に 3 つのオブジェクトが導入されました。

JMSContext JMSProducer JMSConsumer

これらのオブジェクトは、JMS 1.1 の Connection、Session、MessageProducer、MessageConsumer オブジェクトの機能を有しています。

Simplified API は、完全に後方互換性があり、旧コードを使い続けたまま、新規コードに Simplified API を使うことができます。

その他、以下のメッセージ処理および例外処理の新規クラスが追加されました。

- javax.jms.CompletionListener
- javax.jms.IllegalStateException
- javax.jms.InvalidClientIDRuntimeException
- javax.jms.InvalidDestinationRuntimeException
- javax.jms.InvalidSelectorRuntimeException
- javax.jms.JMSRuntimeException
- その他

- **共有サブスクリプション (Shared Subscription)**

JMS 2.0 から共有サブスクリプションが導入されました。これは、トピックの個々のサブスクライバーに複数のコンシューマを指定できるようにするものです。ただし、これらの複数のコンシューマの間でメッセージをサブスクライブできるコンシューマは1つだけです。

こうすることで、トピックのメッセージ受信による処理を複数のコンシューマ間で分散させることができますようになります。ここでいう分散処理とは、メッセージ1の処理をコンシューマ A に、メッセージ 2 の処理をコンシューマ B に振り分けて処理することを指します。

- **遅延メッセージ配信**

JMS 2.0 では、メッセージのセNDER側 (プロデューサ) でメッセージ配信をスケジュールすることができるようになりました。これにより、一日の終わりに配信するといった遅延処理をサポートすることができるようになります。

- **メッセージの非同期送信**

JMS 1.1 では、メッセージのセNDER側 (プロデューサ) はサーバーから ACK が返ってくるまでブロックする同期モードで動作していましたが、JMS 2.0 メッセージを非同期に送信するメソッドが追加されました。このメソッドでは、サーバーからの ACK を待たずに直ちに次のオペレーションに移行できます。ACK を受信すると、

非同期コールバックがインボークされ、送信完了の処理を非同期に行うことができます。

- **セッション生成の新規メソッド**

セッションを生成するためのメソッドが `javax.jms.Connection` に追加されました。

- `createSession(int sessionMode)`

このメソッドは、従来の `createSession(boolean transacted, int acknowledgeMode)` と同じ機能を果たしますが、コードを簡素化するために、アーギュメントが 1 つになりました。

- `createSession()`

このメソッドは、JTA トランザクションが稼働している Java EE web または EJB コンテナで使用することを目的としたものです。

このような環境では、`createSession(int sessionMode)` メソッドで指定したセッション モードが無視されるためです。

2. キュー/トピックのシャットダウン、再起動機能

キュー/トピックのシャットダウンおよび再起動機能を設けました。

この機能は、FioranoMQ を稼働させたままディストネーションのコンフィグを変更するのに便利です。

変更を有効にするにはディストネーションおよび変更したディストネーションを使用しているクライアント アプリケーションを再起動します。

3. C++ ランタイム ライブラリの JMS 2.0 API サポート

FioranoMQ 10 の C++ ランタイムライブラリは、JMS 2.0 API をサポートするとともに、パフォーマンス改善を行っています。

2 既知の問題点と制限

リリース バージョン 10.0.0 では、既知となっている問題はありません。

3. システム要件

プラットフォーム	システム要件
Windows	Microsoft NT Server 2003, XP Professional Java 7 以降 CPU : 1 GHz 以上、32-bit および 64-bit RAM : 2 GB (最小限) ディスク容量 : 5 GB (最小限)
Linux	Red Hat, Suse, Debian Java 7 以降 CPU : 1 GHz 以上、32-bit および 64-bit RAM : 2 GB (最小限) ディスク容量 : 5 GB (最小限)
HP-UX	11i 以降 Java 7 以降 CPU : 1 GHz 以上、32-bit および 64-bit RAM : 2 GB (最小限) ディスク容量 : 5 GB (最小限)
IBM AIX	5x 以降 Java 7 以降 CPU : 1 GHz 以上、32-bit および 64-bit RAM : 2 GB (最小限) ディスク容量 : 5 GB (最小限)
Solaris	9x 以降 Java 7 以降 CPU : 1 GHz 以上、32-bit および 64-bit RAM : 2 GB (最小限) ディスク容量 : 5 GB (最小限)

4. 製品マニュアル

製品マニュアルは、[FioranoMQ マニュアル センター](#) の Web ページから参照することができます。

マニュアル名	説明
FioranoMQ Concepts Guide	FioranoMQ の製品コンセプトおよび機能的特徴について説明しています。
FioranoMQ Handbook	FioranoMQ およびその機能の使用方法について詳細に説明しています。
FioranoMQ Reference Guide	FioranoMQ サーバーおよびその他のコンポーネントのパラメータ一設定について詳細に説明しています。
FioranoMQ Best Practices Guide	パフォーマンス チューニングおよびデプロイメント パラメータについて説明しています。
FioranoMQ High Availability Guide	FioranoMQ の HA 機能について説明しています。HA 機能、アーキテクチャについて説明すると共に、HA の設定方法についてその手順を説明しています。
FioranoMQ Getting Started	FioranoMQ のインストールおよび起動方法について説明しています。 FioranoMQ のコンポーネントについての簡単な説明も含まれています。
FioranoMQ JMX API Guide	FioranoMQ サーバーの稼働中に動的にコンフィグレーションを設定、変更するための JMX API について説明しています。 JMX API を用いてインボークする MBean の一覧も掲載されています。
FioranoMQ C-RTL Guide	このガイドは、C ランタイム ライブラリについて紹介しています。 API の function の機能、使用方法についても説明しています。また、コンパイル方法およびサンプル プログラムの使用方法についても説明しています。
FioranoMQ C++ RTL (Native) Guide	このガイドは、C++ ランタイム ライブラリのデータ型、コンスタント、エラー処理、.NET API、サンプル プログラムについて説明しています。FAQ も付属しています。
FioranoMQ CSharp RTL Guide	このガイドは、.NET 環境のプログラマーに FioranoMQ C# ランタイム ライブラリについて解説するものです。
FioranoMQ API Documentation	このガイドは、C# ランタイム ライブラリに含まれてうるクラスについて説明しています。
FioranoMQ FAQ	このオンラインヘルプ形式のドキュメントは、頻繁に質問される FioranoMQ に関する情報をまとめたものです。

5. カスタマ サポート

- 評価版: info-jp@fiorano.com
評価版をご試用になりたい場合、フィオラノ ソフトウェアまでメールでご連絡ください。
- 東京テクニカル サポート センター:
電話 03 5464 3874 (月～金の 9:00 - 17:00) 登録ユーザーのみ
- サポート ポータル: [Fiorano Supportr Portal](#)

Fiorano Support Portal のご利用には、ログイン ID が必要です。
ログイン ID については、フィオラノ ソフトウェアまでお問い合わせください。